

近畿とあおもり



近畿青森県人会

2023 新年号 NO.67

ご挨拶

近畿青森県人会

会長 小宮山さき子



新年あけましておめでとう
ございます。

2023年、新たな年を迎え
会員の皆様方には、希望に満ち
た新年をお迎えのことと存じ
ます。

平素は県人会の活動にご理
解・ご協力を賜り厚く御礼を申
し上げます。

昨年1月、近畿青森県会は創
立70周年を迎えました。過去の
歴史資料を遡れば、県人会創立
時のご苦労と、県人会入会によ
り、故郷を離れた寂しさを癒や
され懇親を深めて来られた諸
先輩の方々の数々の記録があ
りました。

ここに改めて、故郷を土台と
して築かれる私達会員同士の
つながりの強さを感じる次第
です。

本年は各会員が持つ個性を
活かしながら、より一層活発な
活動の中で、会員同士の懇親を
深めていきたいと考えていま
す。

例を上げれば、三味線・ピア
ノ・民謡等々、「芸能発表会」
をより充実した形にして、発表
の場を広げていきたいと考
えています。

そのためには、連絡体制を作
り上げ、県人会の連絡・情報
が会員の皆様へ速やかに届け
できるようにしていきます。

今後は若い人の新鮮な発想
力と、人生の荒波を乗り越えて
きた諸先輩の発想力（経験知）
が混じり合って、県人会をよ
り一層飛躍させる力になってい
くことと思います。

県人会は、流通の発展により
郷土の農産物・海産物・加工
品・工芸品の消費と宣伝も担う

立場となりました。是非ご協力
ください。

今後とも皆様方のご支援・ご
協力のほどよろしくお願い申
し上げます。

結びに、会員の皆様方の益々
のご健勝とご多幸をお祈り申
し上げます。



青森県観光物産館アスパム



津軽の情報満載。

THE MUTSU SHIMPO

陸奥新報

本社 / 〒036-8356
弘前市下白銀町2-1
TEL.0172-34-3111(代)
http://www.mutusinpou.co.jp/
東京支社 / 〒104-0061
東京都中央区銀座2-8-5 石川ビル7階
TEL.03-3561-6733
FAX.03-3561-6734



年頭挨拶

青森県知事 三村 申吾



明けましておめでとうございます。近畿青森県人会の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には、ふるさと青森を離れながらも、私達と心を一つに、様々な場面で本県のイメージアップや情報発信などに御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

青森県では、これまで、「生活創造社会」の実現に向け、「世界へ打って出る」視点も取り入れながら、「攻めの農林水産業」の展開をはじめ、「経済を回す」取組を特に重点的に進めてきました。

しかしながら、長期化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大

は、本県においても、幅広い分野に大きな影響を及ぼしております。

このため、県では、社会経済環境の変化にも的確に対応しながら、地域経済の早期回復とコロナの先を見据えた事業展開の推進を図るべく、県産品の消費拡大や販売促進、観光需要の喚起など、「経済を回す」取組の再起動や、各産業分野におけるデジタル化の推進にも積極的に取り組んでいます。

また、三内丸山遺跡をはじめとする世界文化遺産「北海道・東北の縄文遺跡群」と本年十二月に世界自然遺産登録三十周年を迎える「白神山地」、この二つの世界遺産をしっかりと守り、次の世代に引き継いでいくとともに、その価値や魅力を国内外に積極的に発信しながら、活力と魅力あふれる地域づくりに向けて取組を進めていきます。

さらに、本年秋には、あおもり米新品種「はれわたたり」がいよいよ全国デビューを迎えます。ふっくら優しい食感で毎日食べたくなるお米として、新たな需要の獲得

とともに、冷害や病気に強く、作りやすいという特徴を生かして、主力品種に育てていきたいと考えています。

今後とも、青森県が有する多様性と可能性を生かしながら、「選ばれる青森県」の実現にチャレンジしていきますので、関西と青森を結ぶ架け橋として、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍をお祈りし、新年の挨拶といたします。



青森りんごを使用した
10種類のアップルパイ!
アグリパークつがる塾 代表 今久男



〒037-0631 青森県五所川原市前野目砂田 57-6

携帯 : 090-6487-6395 aguriparkkom@ybb.ne



神戸青森

833便 神戸空港 12:40 → 青森空港 14:15
834便 青森空港 13:55 → 神戸空港 15:45

ふるさとからの 新年メッセージ

「街づくりの種が

次々と芽吹く年へ

青森市長 小野寺 晃彦



新年あけましておめでとうございます。近畿青森県人会の皆様には、2023年心新たに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、貴会が、近畿圏と青森県の架け橋となり、日頃から本県発展のため、格別の御支援を賜っておりまことに、青森市民を代表して心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、3年ぶりに「青森ねぶた祭」が復活し、新型コロナウイルス感染症対策に努めるため、左回り吹き流しなど例年と

異なる方式での開催となりましたが、沿道からは「開催してくれてありがとう」との声が相次ぎました。跳人・囃子・ねぶたが三位一体となって街を練り歩くことで、青森という街に、ねぶたが無くてはならないものと、例年以上に実感いたしました。

また、令和4年度には青森駅西口広場や新町一丁目地区再開発事業（THREE）、令和5年度には中新町地区再開発事業、令和6年度には青森駅東口の新駅ビル開業や青森操車場跡地の（仮称）青森市アリーナ開設が予定されるなど、これまで蒔いてきた新たな街づくりの種が次々と芽吹いていく予定です。

近畿圏と青森県は、平成26年7月の青森—大阪（伊丹）線のダブルトラック化に加え、令和2年3月から青森—神戸線の就航により、伊丹空港及び神戸空港と青森空港が直行便で結ばれ、近畿圏と青森市はますます身近になっています。

今後も青森市は近畿圏の皆様と

交流する機会をさらに拡大し、「魅力が集い、ひとが行き交う、県都あおもり」の街づくりに挑戦してまいりますので、皆様の御力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を心から祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

「健康都市弘前」を

目指して

弘前市長 櫻田 宏



新年おめでとうございます。

近畿青森県人会の皆様には、健康やかに新春をお迎えしたと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、「弘前ねぶた」が初めて文献に登場してから300年という節目の年を迎えました。弘前ねぶた祭りは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年、令和3年と2年連続で中止を余儀なくされましたが、昨夏は感染拡大防止対策を徹底しながら、弘前市民一丸となって協力し合い、実に3年ぶりに開催することができました。

大きな掛け声で運行する子ども達や、それを支える大人達の姿は、多くの観客に元気と活力を与えてくれたと同時に、健康で過ごす日常生活の有り難さを改めて感じたところでもあります。

市では、これからのまちづくりの基本となるのは「健康」であるとの認識のもと、「健康都市弘前」の実現に向け、様々な取組を進めているところでもあります。これは、市民一人一人が長く元気に活躍する「ひとの健康」を重視した街づくりに加え、健康医療産業の誘致などにより、雇用を創出して若者の地元定着を促進し所得の向上を

図ることや、子育てがしやすいなどの「まちの健康」も重視した街づくりを目指すものであります。

地元弘前大学との新たな組織の設立による連携強化や、令和5年4月からは子ども医療費を完全無償化するなど、市民の将来にわたって健康で豊かな生活を送ることができるよう、一つ一つの課題に真摯に向き合い取り組んでまいりますので、引き続きみなさまお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

今年、白神山地世界自然遺産登録三十周年を迎えます。白神山地の玄関口である当市としても、白神山地の魅力を積極的に情報発信してまいりますので、皆様におかれましては、是非足を運んでいただければと思います。

結びに、近畿青森県人会のますますのご繁栄と、会員の皆様のご多幸とご活躍を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。



「ひと・産業・文化が輝く

北の創造都市」

八戸市長 熊谷 雄一



明けましておめでとうございませう。近畿青森県人会の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、経済・産業・文化など多方面において、地域発展のため、お力添えを賜っておりますことに対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済活動は制限を余儀なくされておりましたが、昨年10月から開始された全国旅行支援により、新たな観光需要が喚起されたところであり、皆様におかれましては、旅行や故郷への帰省をされた方も多か

つたものと思えます。

昨年を振り返りますと、当市においては、3月に「蕪島ウミネコ繁殖地」が天然記念物指定100周年を迎えたほか、12月には東北新幹線八戸開業20周年を迎え、様々な記念イベントを実施したところであります。

また、美術館では、絵本「11ぴきのねこ」シリーズで知られる三戸町出身の漫画家・馬場のぼる展覧会を7、8月に開催し、2万人を超える観覧者で賑わいました。

本年は、1月28日から2月5日まで、当市を会場に特別国民体育大冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が開催されるほか、5月には三陸復興国立公園指定10周年を迎えるなど、「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも、八戸市との交流の要として、なお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

和歌山青森県人会会長
和歌山県相撲連盟会長

橋本 剛

(鯨ヶ沢町出身)

〒641-0052 和歌山市東高松 2-2-21

☎ 090 - 2591 - 1666

和歌山青森県人会名誉会長

榎本 篤子

マルマンビル マルマン駐車場

〒640-8342

和歌山市友田町4丁目9番地

☎ 073 - 428 - 1515 FAX 073 - 428 - 1516

結びに、近畿青森県人会の今後ますますの御発展と、皆様の御健勝並びに御活躍を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

「コロナを乗り越え

明るく未来へ」

十和田市長 小山田 久



明けましておめでとうございます。す。

近畿青森県人会の皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えのものと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、市内最大のお祭りである十和田市秋まつりや、とわだ駒街道マラソン大会など、市を代表する催事が開催でき、コロナ禍により停滞していた社会活動

や地域経済に回復の兆しが見える一年となりました。引き続き、医療関係者をはじめ各方面の皆様のご協力のもと、新型コロナウイルススワクチンの早期接種に取り組み、市民が安心して暮らせる日常生活を取り戻せるよう、感染拡大の防止に努めてまいります。

また、市政においては、令和5年におきましても、第2次十和田市総合計画に掲げた将来都市像「くわたしたちが創るく希望と活力あふれる十和田」の実現に向け、市民との協働を図りながら魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

特に、まちの賑わいづくりのため、十和田市中心市街地活性化基本計画に基づき、昨年4月には、バス・タクシーの結節点となる公共交通拠点「まちなか交通広場」が完成し、9月には、藤本壮介氏の設計により建設された地域交流センター「とわふる」がオープンするなど、現代アートをコンセプトとした中心市街地の新たな魅力が形成され、人の流れと賑わいを

創出しております。

これからも、多彩な地域資源や、このまちに暮らす市民の知恵と力を最大限に活かし、より多くのから「住みたい」「住み続けたい」「訪れたい」まちとして強く支持されるよう邁進してまいりますので、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

「ふるさと再構築」に向けて

つがる市長 倉光 弘昭



近畿青森県人会の皆さまには、新春を健やかに迎えのものと心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、日頃より近畿圏域とふるさとの架け橋としてお力添えを賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私は令和3年3月に市長に就任し約2年間、田園都市である本市をもっと強く豊かにするために「農業所得向上」「中心市街地活性化」「住環境の充実」「自然環境保全」「文化の継承」「未来を担う人づくり」の6つの柱を掲げ、全力で市政に取り組んでまいりました。

その中から3つの重点課題に絞って「人口減少・少子高齢化対策」「健康づくり対策」「魅力ある農業の推進」について以下のような具体的な施策を展開しています。

充実した育児環境整備のため、各種無償化（子どもの医療費・インフルエンザ予防接種）をはじめ、若年夫婦世帯への家賃支援等の補助制度を充実させ、若者世代の定住を推進します。今後も結婚から出産・子育てまでのライフステージに応じた切れ目ない支援を継続していきます。

また、心身ともに健やかに暮らせるまちづくりを目指し、検診・検査助成や、健康教室などを実施していきます。

基幹産業である農業については、持続的に発展させていくため備かる農業の実現に注力します。

農産物の高品質・高付加価値化、担い手の確保・育成などの施策を展開していますが、産地の競争力強化に向け、スマート農業導入に向けた衛星測位システム基地局設置など、高収益作物等の生産拡大、農作業の効率化・省力化を図るための取組を推進していきます。

最後に、本市に生まれ、育ち、生業に励み、その人生がよかったと誰もが思えるまちづくりの実現に向け、引き続き全力で取り組む所存でありますので皆様の変わりぬご支援をお願いいたします。本年が皆様にとりまして、夢と希望に満ちた一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



「笑顔と誇りに満ち溢れる

ふるさとづくり」

を目指して

五所川原市長 佐々木 孝昌



近畿青森県人会の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、燃料や物価の高騰により地域経済や市民生活に甚大な影響を及ぼすこととなりました。

そのような状況の中ですが、昨年八月、三年振りに当市最大の祭り「五所川原立佞武多」を開催することができました。初の正式運行となった立佞武多「暫」をはじめ大型立佞武多3台、新たに制作した中型立佞武多「金太郎」、各団体や学校のねぶたが市街地を練り

歩き、長引くコロナ禍で疲弊した地域に活気を取り戻すことができました。

本年は、「五所川原立佞武多」二十五周年の節目であり、新作大型立佞武多として日本神話に登場する「素戔嗚尊(すさのおのみこと)」が出陣する予定です。万全の態勢を取りながら準備を進めてまいりますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

また、本市は彩り豊かな風土に育まれた多くの特産物を有し、その魅力を発信するツールとして「ふるさと納税」に注力し、青森県の名産であるりんごや米、「金木の馬肉」、「十二湖産ヤマトシジミ」や「市浦牛」などさまざまな魅力溢れる特産物を返礼品として県外の方に楽しんでいただいております。現在、県内でもトップクラスの寄附額となっており、これも偏りに、本市を応援してくださる多くの皆様のおかげであると感謝しております。

本年も、地域経済と市民生活の元気を取り戻すとともに、笑顔と

誇りに溢れる地域づくりと誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けて努めてまいります

ので、皆様のあたたかいご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、近畿青森県人会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。

「大空へ夢をはこぶ坂道」

五戸町長 若宮 佳一



大空へ夢をはこぶ坂道、五戸町は坂道の多い町です。平安時代末期から存在したみちのくの「奥大道」は江戸時代に入り、江戸を起点とする五街道の一つ「奥州街道」として整備され、町の中心部を南北に貫いています。奥州街道の三

戸町蓑ヶ坂から南部町小向、五戸町浅水、五戸町中心部までの区間は、現在も良好な状態のまま残されています。1996年文化庁の「歴史の道百選」にも選定されました。

坂の多い町を重さ5tの山車が通ります。9月の1週目の週末は五戸まつりです。稲荷神社、神明宮、八幡宮の五戸三社約5キロの行程をお神輿や豪華な山車がねり歩きます。その標高差は約50mです。八幡宮のあるところは標高35m、神明宮は標高88mです。

この坂道をみんなの力を合わせ「よいし、よいさく、よいせー、よいさつ」と引つ張ります。一番傾斜がきついところは堀合坂（図書館脇）です。傾斜15%の坂道を上る山車とそれを引つ張る引き子の勢いには、未来への希望を感じます。今年は新型コロナウイルス感染症の対策のため、例年開催されている豊年祈願祭や山車の運行等の実施は見送られました。新たな試みとして、山車の共演・展示が行われました。3年ぶりの開催が実現したこのイベントには、

3日間合計で1万5千人もの人が来場し、大いに盛り上がりました。

町には五戸馬肉、あおもり倉石牛、青森シャモロックの三大肉を食べられるお店があります。「このへ三大肉」として売出し中です。で、そちらの方も合わせてご賞味お願いします。

近年、五戸町に新しく仲間が増えました。「五戸のおんこちゃん」です。町の木である「おんこ」の木です。神出鬼没でおいしいものがあるところに現れます。普段は「にこかこにこかこ」していますが、食べ物の前では目をカーッと見開き野生を解き放ちます。友達もいます。シロという名前の白馬の精のようなものです。オンノミーズというおんこの実の精もいます。「五戸のおんこちゃん」検索よろしくお願いします。時代は流れました。どんな坂道でも上り続けましょう。五戸町の坂道は大空へ続いています。大空へ夢をはこぶ坂道、一緒に駆け上がりましょう。

「鶴田町の近況と新年に向けて」

鶴田町長 相川 正光



明けましておめでとございます。

近畿青森県人会の皆様には、遠く故郷を離れ、各界において広く活躍されておりますことに深く敬意を表しますとともに、鶴田町政にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は当町でも八月三日と九日に降り続いた記録的な豪雨により、岩木川が一時、氾濫危険水位を超えたため、近年では初めて避難所を開設するなど、皆様には大変ご心配をお掛けいたしました。被害については、岩木川流域に沿って樹園地等が冠水し、広範囲に及ぶりんご等への被害が確認されたほか、地区によっては、住

家等が浸水被害を受け、畳や家財道具の廃棄を余儀なくされた住家も確認しております。しかし何よりも人的な被害が無かったことが幸いであり、安堵しているところでもあります。また、全国から寄せられました心温まるお言葉や大切な寄付金に対しまして、心から感謝を申し上げますとともに、被災された地域住民の皆様の日も早い復興に全力を注ぐ所存でございます。

一年を振り返って見ますと、コロナ禍にあっても、各種イベント7やスポーツ大会など、徐々にではありますが開催することができたことに、明るい兆しを感じております。また、「鶴の舞橋」や「道の駅あるじゃ」への観光客が戻りつつあり、ようやく交流や経済が動きだしていると、実感しております。令和5年も新型コロナウイルスの感染防止に万全を期した上で、可能な限りチャレンジして参ります。

結びに、今後も町民の皆さまと共に知恵を出し合い、鶴田町の発展のため邁進してまいりますので、

ご支援ご協力を賜りますとともに、近畿青森県人会の皆さまの今後益々のご多幸とご活躍をお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

「まちの魅力で賑わいと活気を」

鱈ヶ沢町長 平田 衛



近畿青森県人会の皆様には、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年、当町では8月の記録的な大雨により甚大な被害を受けました。

県内外から多くのボランティア、また、災害復旧のため物心両面にわたり多大なるご支援を賜りました。この場をお借りしまして衷心より御礼申し上げます。

町では、被災地域及び町民が一

日も早く元の生活を送られるよう、引き続き復旧復興に向けて取り組むとともに、今後一層の防災対策に努めてまいります。

さて、当町は、世界自然遺産「白神山地」をはじめ、山、川、海の自然、歴史、食など、豊富な資源を有しています。

津軽藩発祥の地、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」など町の歴史文化、30万食突破のヒラメのヅケ丼、肉、スイーツなど食資源を活用した「食の三大イベント」を通じ、町のプロモーションを展開しています。

昨年は、藩政時代、鱈ヶ沢城が築かれた天童山に「鱈ヶ沢城跡」の標柱を設置し、御城印の発行、歴史散策ツアーや展示会を開催しました。

今後、新たな史跡・観光名所として由緒ある港町の歴史を広く内外にPRしてまいります。

また、本年、白神山地が世界自然遺産登録30周年を迎えることから、休止した白神の森遊山道の利用を昨年秋に、ガイドツアー限

定で再開し、機運を高めております。

こうした魅力的な資源をフルに活用しながら、町のプロモーションにより力を入れ、賑わいと活気のあるまちを目指してまいります。ぜひ、皆様にご来町いただき、町の魅力を感じていただければと存じます。

結びに、今後とも、本県発展のため、尚一層のご支援をお願い申し上げますとともに、近畿青森県人会のますますのご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



「町の未来と町民の

利便性創出に向けて」

中泊町長 濱舘 豊光



新年あけましておめでとうございます。近畿青森県人会の皆様には、初春を清々しい気持ちでお迎えることとお慶び申しあげますとともに、日頃から中泊町政の推進8に対し温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、国では、2050年までに年間12億トンを超える温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標に掲げており、脱炭素社会実現のためには再生可能エネルギーの活用が重要な課題となっております。

当町の中里地域においては、昨年尾別地区に中里風力発電所が竣工されました。小泊地域では、小泊漁港区域を活用した洋上風力発

電事業が計画されているほか、日本海沿岸でも多くの事業者が洋上風力発電事業への参入を検討しています。今まで利用されてこなかった風を大いに活用し、風を地域の資源とすべく地域振興、産業振興に取り組んでまいります。

また、国が全国民に取得をお願いしているマイナンバーカードは、中泊町が昨年、県内でトップの交付率となりました。カード取得による利便性の向上を図るため、3月中には、全国のコンビニエンスストアで住民票等の各種証明書を取得できるよう、準備を進めてまいります。

町や地域には、たくさんの方々の解決すべき課題がありますが、今後とも常に変わりゆく社会の流れや国の動向も注視しながら、情報を正しく分析し、適時適確に対応してまいります。

当町の基幹産業である一次産業「大地の恵と海の幸」でしっかりと食べていける持続可能なまち、町民の皆様が安心して楽しく暮らせるまちをめざして、これからも

日々の公務に取り組んで参りますので、今後とも町政運営に對してご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

「未来へ挑戦する東通村へ」

東通村長 畑中 稔朗



新年あけましておめでとうございます。近畿青森県人会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

東通村は現在、少子化、人口減少、人口流出、長引く漁業の不振、地域経済の低迷、買物弱者の増加等々、課題が山積しており、私は東通村発展のために、「未来へ挑

戦する東通村へ」のローガンのもと、六つの柱と二十九の政策を展開しております。

その中で、昨年度より取り組んでおります「東通円卓会議」では、住民の皆様からそれぞれの集落が抱えている問題や課題について直接意見を伺うことができ、非常に有意義なものとなり、道路や側溝整備などの生活に密着した事業等、可能な限り対応して参りました。

さらに、「中学生議会」では、村の将来を担う生徒たちの貴重な意見を伺い、大変頼もしくそして誇らしく感じました。

いずれも私が大切にしている施策であり、来年度以降も継続して開催して参りたいと考えております。

今後も村民が主役の村政運営実現に向けて、村民の声を村政に反映させるための施策を柱に、未来をつくる「ひとづくり」、未来を牽引する「しごとづくり」、一人ひとりに寄り添う「くらしづくり」、そして村民のいのちを守る「むらづくり」を実施すべく、施策を展開

して参ります。

近畿青森県人会の皆様方には、郷土発展のために、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様の方々のご健勝とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。新年のお祝いの言葉とさせていただきます。

青森の地酒と味が楽しめる

(06-6926-4521)

居酒屋 **じよっぱり**

営業時間;16:30~22:30 (日祝と第2・4月曜日休)
場所:地下鉄南森町駅・JR大阪天満宮駅徒歩5分)
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-21



福士佳代子さんからの

メッセージ



青森県人会の皆様、今年は、私が22年間の陸上競技人生に別れを告げ、現役引退をした年でした。今夏に大阪で開かれた近畿青森県人会の懇親会に参加させて頂き、その場にいた皆様には、今までご支援と応援をしていただき、ありがとうございますとご挨拶をすることができました。この場をお借りして、全国の青森県人会の皆様にも、感謝をお伝えしたいと思えます。今まで長年、応援していただき、どうもありがとうございます。近畿県人会の皆さんとお会いして、故郷の話をしたり、三味線を聞いたり、歌を歌ったりと、本当に、あずましく楽しい時間を過ごす事ができました。故郷があるっ

ていいなあ。青森県の魅力もありますが、

青森県人の魅力が1番っ!!!

改めて、「まんずいっきやなっ青森県人。」って思いました。

これからも故郷を誇りに、元気に長生きしたいと思えます!

そして、私の今の近況ですが、現

役引退はしましたが、所属先であ

る、ワコール女子陸上競技部のアドバイザーという形で、ワコール

の社員として働いております。マ

ラソン大会のゲストランナーや青森県での講演なども副業でやっております。

いろいろな地方でのマラソン大

会に行つて、沢山のランナーの方や子供たちと走つたりしています。

そんな中で新たに、私の夢が出来

ました!

【地球を走つて笑つて

元気にする】

いろんな地方に行つた先で、一緒に走つて笑つたりすると楽しい思い出が出来るな。

これつて小さい子でも大人でも一緒にできるし、私が元気になるなっ!!!

そんな大会が、出来たらいいな。

じゃあ、作っちゃおう!と、仲間と共に考え大会が開催出来るまでになりましたっ!!!

その名も、

【笑つて走れば福来たる駅伝】

略して、笑福駅伝(わらふくえきでん)。

子供から大人まで参加できて、走

れない人は、歩いてOK。走ら

なくても会場に来てくれるだけでも楽しい、来てくれた人が、一回

でも笑えるような、そんな大会を目指しています!場所は、第3の

故郷とも言える香川県にしました。自分が出る立場ではなく、自分が

開催する立場ということで、今までと違った景色がたくさん見られて、

刺激ももらっています。これが初めての私が主催で行うイベントです。

青森県じゃなくて、ごめんなさい。

次は、青森かも知れないですし、一回で終わらずこれからも続いて

いけるイベントにしたいなと思つて

います。いつか青森でもこんな大会を開催したいと強く願つてい

ますので、その際は皆様ご協力を

よろしくお願いします!これから活動をしていきたいと思えます。皆さんとまた会えるのも楽しみにしております。今後とも引き続き

よろしくお願い致します。

福士加代子 RUN プロジェクト

笑つて走れば福来たる駅伝
in 香川笑福駅伝

開催日 : 2023年4月1日(土)
ランナー募集期間 : 2023年2月10日(金)迄

青森県観光地案内

青森県下北半島

仏ヶ浦の観光



海底火山の噴火と地層の隆起で生まれた仏ヶ浦。

海岸沿い2キロにわたって連なる白緑色の奇岩の数々は、不思議な形をした奇岩群です。凝灰岩が途方もない年月をかけ、風雨や波により削られてできたもので、その美しさに魅了されます。

名前の由来は、まるで極楽への

入り口のような美しさで、死者があつた世とこの世を行き来することから「仏ヶ浦」と呼ばれています。

道路は佐井・大間・風間浦村と続き大自然の海と、海の幸も堪能できます。



仏ヶ浦の観光は船がおすすめ！

風が強いときは船が出せない時があるので、事前に調べていくと良いです◎



ローリエ



日本海の夕日を見ながら
おいしいピザとハンバーグはいかが



鱒ヶ沢町舞戸海岸通り TEL 0173-72-5993

美味しかったバーベキュー



10月23日、J・R新三田駅集合「しいたけ園有馬富士」の迎えのバスに乗り、自家用車組と現地で合流。バーベキューを楽しみました。自然がいっぱいの中、食べる前に、まずは椎茸狩りです。小さくたくさんの椎茸が原木にいっぱい出来ていて、「美味しいのはどれかな」取ったの食べきれぬかな」とか言いながらも、楽しく摘んだ椎茸を持ってお店側で用意してくれた、4人で一つの火鉢へ・・・。狭いねとか、なかなか焼けにくいかも〜と言いつつながらも、椎茸の炊き込みご飯と一緒に食べました。自然の中で食べると、少し物足りなく感じた方もいて、炊き込みご飯のおかわりをもらい、「しつかりと食べてきました。お天気もよく、大自然の中で楽しく過ごせた1日でした。

かまりっこの会

忘年会に参加して

須郷恵美子 鶴田町出身



かまりっこの会、少し早い忘年会を11月20日に開催。

なかなか大勢が集まったの飲食が出来なかつた中、久々に賑やかに出来た「会」でした。

美味しい料理、お酒を食べたり呑んだりしながらの話が弾みました。

「かまりっこの会」の目的でもあるお国言葉で話そう会は、津軽から参加して下さった、夙絵師の田中玄鳳さん、小林伸陽さん、お世話下さった藤本桂子さんを交え、お国言葉での喋りも弾み楽しい時間でした♪

参加して下さった小島伸陽さんによる津軽三味線の力強い音に改めて「いいなあー」お腹の底から力が湧いてくるなーと感じたひ

と時でした。心に沁みたま三味線の音を聞いたあと、集合写真を撮って散会となりました。

何よりも美味しい料理、青森の美味しいお酒を用意して下さった三陸寿司皆さん色々とお心配りして頂きありがとうございます。

← (左写真2枚) かもめの会
↓ (下写真) かまりっこの会



3県合同かもめの会忘年会

12月11日、道頓堀ホテルで3年ぶりに忘年会が開かれました。

参加者29名(青森県13名)、道に迷って会場に到着出来なかった人が1名。岩手県の菊池会長の挨拶で始まりました。「以前より食べる量が減った」「酒の飲める量が減った」と言いながら、みんな美味しく食べて飲みました。いつの間にか各自がテーブルを回ってお酒を注ぎ合い、あちこちで話が盛り上がり上がっています。カラオケが始まれば、音楽に合わせてダンス。歌の中にはお国訛、あつという間の二時間半でした。最後はかもめの会の愛歌「青い山脈」で輪になり全員で歌って終了。楽しい時間でした。次回は4月、神戸の万葉倶楽部で総会を開催します。楽しみにしています。



故郷探訪ツアー2023

「ここ数年「ふるさと探訪ツアー」が出来なくなっていました。やっとならば以前に戻れそうなの頃です。青森へ旅行に行きたいとよく言われていました。

頑張つて今年こそは行きたいと企画を組んでみました。

予定は未定なので、変更があるかもわかりませんが、今年下記行程で行きたいと思っています。

変更があるときはお許しください。

五能線で津軽平野へ・・・

夏の鳶沼と弘前観光

【1日目】大阪から秋田北空港
 〓 秋田大会館見学 〓 能代駅から五能線乗車 〓 鱒ヶ沢駅下車ホテル宿泊

【2日目】鱒ヶ沢ホテル発（観光バス）
 〓 千疊敷海岸車窓・木造駅舎見学・高山稲荷神社・金木町斜陽館・三味線会館・道の駅 〓 鳶沼見学・奥入瀬森のホテル宿泊
 【3日目】ホテル発 〓 奥入瀬溪流散策 〓 弘前観光（弘前公園・

大正浪漫喫茶室・白馬龍神温泉で入浴・たかはし中華そば店） 〓 青森空港解散



義援金

青森県と鱒ヶ沢町へ

2022年（令和4年）8月、停滞する前線の影響で断続的な降雨に見舞われた青森県内。中村川が氾濫した鱒ヶ沢町は建物浸水被害が445棟に拡大のニュースを見て、急遽義援金を募る連絡を皆様にお伝えしました。急遽にも関わらず、たくさんのお志を頂きました。お預かりした義援金を青森県と鱒ヶ沢町へ送ることを理事会で決定し、11月末に送金しました。会員の皆様に感謝すると共に、少しでも故郷のお役に立てたらと思います。

（小宮山）

近畿青森県人会による

2022青森県内

10大ニュース!

- ① ひと粒4万円のさくらんぼ、甘さ最高
- ② 青森県内集中豪雨で被害甚大、支援の輪続々と
- ③ 青森県コロナ感染者、7日連続1000人超え
- ④ 青森県産の食品は味が良い・安心して食べられると消費者の感想
- ⑤ 八戸市で魚の種類をAIで自動選別、最大1分に200匹の選別
- ⑥ 青森の新ブランド米「はれわたり」は「もっちり・ふくよか・素直な甘み」
- ⑦ キノコ採りの男女5日ぶりに無事発見、油断から来る遭難だった
- ⑧ 青森県内のりんごの産地で人手不足が深刻、後継ぎのいない悩み
- ⑨ 田舎館村野田んぼアート高いくオリティー。北海道・北東北の縄文遺跡群
- ⑩ 2022、青森県内夏の祭り復活、活気づく街々

お店紹介

青森・岩手ええもんショップ


青森・岩手ええもんショップは大阪メトロ西梅田駅近く、ドージマ地下センター内にあり、青森・岩手両県の県産品を常時約800点販売しています。青森の商品は人気の黒にんにくをはじめ、りんごやりんごのお菓子、ほたてのおつまみ、お米やお酒、季節限定商品など、多数取りそろえております。また、季節ごとのセール等も実施しており、県人会員証の御提示で割引もありますので、皆様お誘い合わせの上御来店ください。お待ちしております！



阪急デパートで販売されていたさくらんぼ（7月4日撮影）



あらいんご

こんにちは。青森りんごの専門店、「あら、りんご。」です。私たちは文字通り、青森県産のりんごのみを使ったスイーツやドリンクなどを取りそろえています。神戸・三宮のトアロードにある本店からスタートし、今ではJR大阪駅のルクア大阪店、青森県十和田市の奥入瀬ろまんパーク内にある、青森ファクトリー店、奥入瀬溪流の入口にある奥入瀬店の4店舗に。青森りんごの美味しさをより多くの方に伝えていくことをミッションに日々営業をしております。なかでも人気があるのは、紅玉を使ったたりんごパイや、品種の味の違いを楽しめるりんご飴です。りんごスイーツの王様といわれる、タルトタタンも紅玉をはじめ、限定で希少品種のジェネバという中まで赤いらんごを使った珍しいものも。皆様の日常に根付いている青森りんごだと思いますが、ぜひあら、りんご。で青森りんごの魅力を再発見しにきてくださいね 

あら、りんご。神戸本店

☎ 078-334-1105



あら、りんご。ルクア大阪店

☎ 06-6151-1261



会社紹介

木戸食品

木戸食品は、創業明治40年、115年の歴史を持つ食品メーカーで、現在の社長、木戸宏文60歳が四代目です。青森県外ヶ浜町蟹田地区(合併前の蟹田町)に、町の豆腐屋として創業し、昭和47年から「元祖茶わんむし風玉子とうふ」の製造販売をスタートいたしました。以来、玉子とうふは、発売52年、半世紀を超えまして、今や「青森のソールフード」の評判を頂いています。平成11年からは、ほたて加工品を多数手掛け、商品ラインナップを充実してきました。2020年には、急速冷凍機を導入して、最近トレンドの冷凍食品も手掛けています。



木戸食品



関西・中四国の

各青森県人会

会員限定!

フジドリームエアラインズ (FDA) 旅行プラン

令和2年3月29日にフジドリームエアラインズ (FDA) による青森空港と神戸空港を結ぶ路線が就航され、1日1往復で運航されています。

この度、フジドリームエアラインズ様から、ドリームツアーズ企画による関西・中四国の各青森県人会の皆様限定の旅行プランを御提供いただきましたので、御案内します。

神戸・青森間の往復の航空機 (FDA 定期便) にWEBカタログギフトがついて、17,000円 (帰着2023年3月25日まで) と非常にお得なプランです。

宿泊はセットになっておりません。なお、条件や留意点がありますので、詳しくは、同封のチラシを御覧ください。この機会に御活用願います。

堺シユライクスの

新たな挑戦へ

〜リーグ三連覇の先に〜

さわかみ関西独立リーグ22年シーズンは記録尽くめのシーズンであった。チーム勝率は8割を超え(通常は6割を超えると断トツの成績)、個人タイトルをシユライクスの選手が総なめ。結果としてリーグ3連覇は宣言通り達成された。

4年前、八戸市出身の松本オーナーが大きな希望を胸に創設した新球団は、現在リーグ最強の一角として名を轟かせている。しかし、松本オーナーの見据えた未来はさらに先にある。

「シユライクスからNPB(日本プロ野球)の球団へ選手を輩出したい。さらなる高いステージで活躍する選手を一人でも多く出したい。」

熱い思いを一層強く抱いて選手は今日も練習に汗を流している。

来シーズン、堺シユライクスは4月1日くら寿司スタジアム堺にて開幕戦を行います。約2000名の方を呼ぶために現在開幕戦のチケットを売り切っています。この開幕戦はチャリティーとなっていてチケット売り上げの一部を小学生の試合の公式球として寄付致します。

来季にかける選手や未来に羽ばたく子供たちのためにぜひ、チケットを購入の上、みなさんで応援に行きましょう。



野球と仕事と地域と

青森県出身の成田朝陽さんが2022年に入団した女子プロ野球チーム「兵庫ブルーサンダース」について県人会の皆さんには注目していただきたい。彼女らがいかにして働きながらプロとして活動しているのか。球団がどういった思いで地域に根差しているのか。知ってもらおうきっかけになればと思う。

兵庫ブルーサンダースは兵庫県三田市に本拠地を置く女子硬式野球チームです。2019年にチーム発足し、リーグ参加してから現在で3期目と

なっている。

所属選手は

地域企業の正社員として働 きながら、練習時間を確保し、生活を行っている。オーナーの高下さんは所属選

手について「みんな真面目で一生懸命です。野球選手としても社会人としても素晴らしい人間性をもっています。」と、自信を覗かせている。

しかし、女子野球の活動の難しさに直面している部分もある。例えリーグ優勝したり、全国で優勝できたとしても野球だけで生活できる女子選手はほほいしない。女子野球選手の未来についてオーナー高下さんは「強いチームを作ることによって野球の好きな女の子の憧れになることがまず大切です。憧れをもってチームに来てくれる選手を増やすことによって、地域に雇用を生み出すことに繋がります。そういった流れを作っていくことが私たちにできることではないでしょうか?」

野球と仕事と地域が一つとなつて産業を大きくしていくこと。その流れにたくさんの人を巻き込んでいく兵庫ブルーサンダースの活動に今後は注目して追いかけていこうと思う。

カネショウ株式会社



りんごのふる里で生まれた味
カネショウのりんご酢たちです
本社: 弘前市蔵王町15-23
工場: 平川市日沼書田30-12
0120-30-0231

新入会員紹介

金子立伸 さん



大阪在住約10年、
大阪市西区に在住
しております。

大阪には、りそな銀行勤務時代の10年前に、品川の隣の大森支店から転勤で、梅田支店に参りました。その後、銀行を退職し、不動産、保険を大阪で自営をして、現在の財務コンサルに至ります。仕事は、資金繰りに二度と困らない仕組みづくりのサポートをするこゝとで、経営者の方の伴走をしております。

八戸が社会人の初任地でした。サーフィンをしたり、朝までみるく横丁で飲んだり、社会人のスタートを最高の場所で始められて、それが今の自分にとって、非常に大きな財産になっていきます。同僚と青森各地のバンガローに泊まって、夜通し飲んだことも素敵な思い出です。

関西に来てからは、東北の方とお会いすることすら珍しく、大好きな青森の地元の方とのつながりを大事にしたいと思ひ、県人会に入らせていただきました。

独立してまだ二年と若輩です。で、先輩方から大阪(関西)での商売のイロハをいろいろ教えていただければ嬉しいです。



2023年2月25日(土) 第18回全国青森県民謡コンクール 2023年2月26日(日) 第20回全国津軽三味線コンクール

審査員 五錦竜二・二代目今重造・小山貞・工藤武・木乃下真市

会場 箕面市立メイプルホール

〒562-0001
大阪府箕面市箕面5-11-23
TEL 072-721-2123
入場料 (1日) 前売り 2,500円
当日 3,000円



◎ 出場者募集中

箕面市立メイプルホールへのアクセス方法

- ① 阪急宝塚線「石橋阪大前」で箕面線に乗り換え「箕面」下車 徒歩7分(阪急梅田・十三より)
- ② 大阪モノレール「蛸ヶ池」下車 阪急宝塚線に乗り換え「石橋阪大前」駅で阪急箕面線に乗り換え「箕面駅」下車 徒歩7分(伊丹空港より)
- ③ 地下鉄御堂筋線「千里中央」下車 阪急バスにて「千里中央」から「箕面警察署前駅」下車(新大阪駅より)

- 主催 青森県郷土芸能協会
- 共催 公益財団法人箕面メイプル財団

青森県郷土芸能協会 (大阪大会実行委員会事務局)
Tel 090-9883-2589 (亀谷英明)
公式サイト <http://www.jyonkara.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/aomorikenmiyo>

北富内科

- 内科一般 ● 径鼻・径口胃カメラ
- 大腸カメラ ● 超音波検査(エコー)
- 検診一般 ● 健康相談

医療法人社団 北富内科

理事長 北富 千賀子
昭和35年度弘前高校卒業

院長 金城 東浩
医員 金城 和美

交通アクセス ▶ 県商行きバス
星陵台1丁目バス停より東へ50m

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
AM9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
PM2:00~ 5:00	○	○	×	○	○	×	×

TEL 078-709-5101 〒655-0032 神戸市垂水区星が丘1-4-19

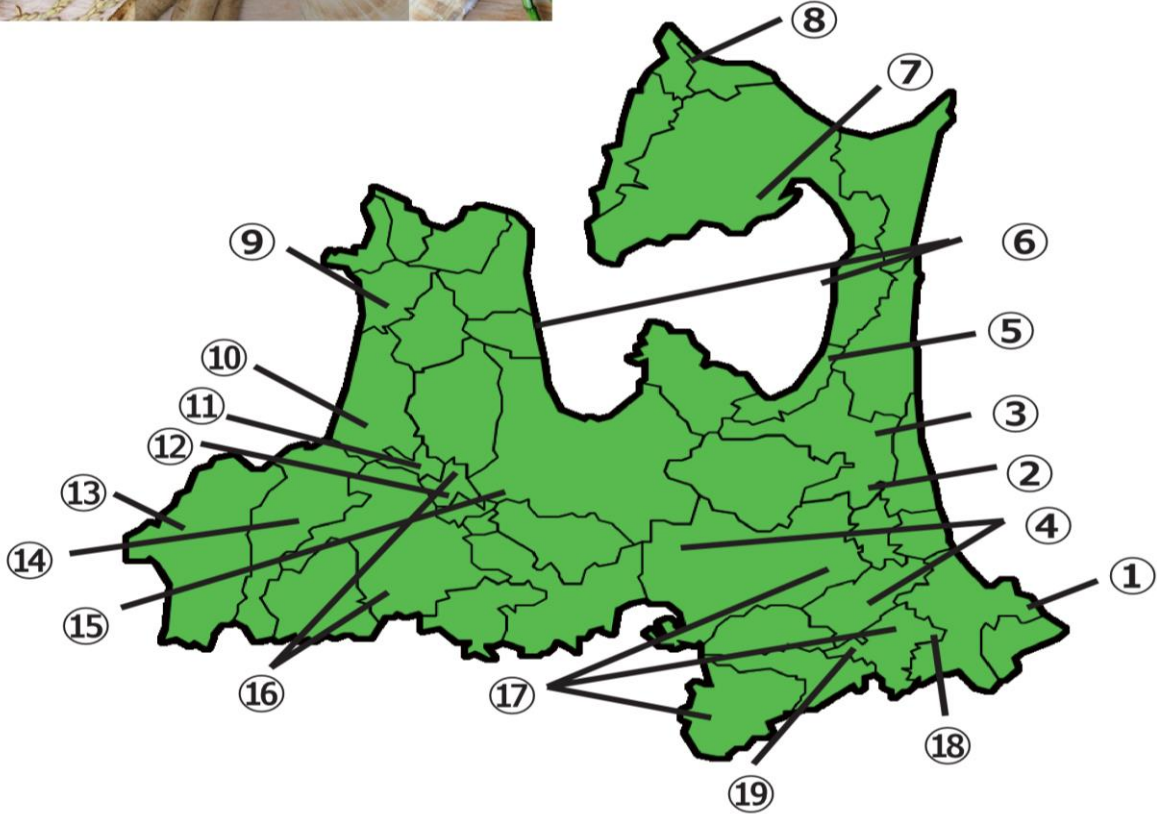


青森 特産品 図鑑



みんなはどれくらい
知ってるかな？

青森観光マスコット いくべえ



- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ① スルメイカ・ヤリイカ | ⑨ 十三湖しじみ | ⑰ 福地ホワイト |
| ② ゴボウ（生産日本一） | ⑩ つがるメロン | ⑱ ジュノハート |
| ③ 大和しじみ | ⑪ 屏風山スイカ | ⑱ ゼネラル・レクラーク |
| ④ 長芋 生産全国2位 | ⑫ スチューベン | |
| ⑤ 野辺地葉つきこかぶ | ⑬ ふかうら雪人参 | もっとこれからたくさんの |
| ⑥ 陸奥湾ほたて | ⑭ 嶽きみ | 名産が生まれて |
| ⑦ 一球入魂かぼちゃ | ⑮ 青森カシス | きますように！！ |
| ⑧ 大間マグロ | ⑯ りんご（生産日本一） | |



アプリ配信中です

地元のニュース素早くキャッチ

デーリー東北のアプリ「デーリー東北デジタル」は地域のニュースをいち早く、より詳しく提供し、皆さんの生活に役立つアプリとして好評を得ています。まだ、利用したことのない方はぜひダウンロードしてお試しください。

クーポンを使って
お得に買い物できたわ

遠報が届いた。
青森でも桜が開花したんだね



おかげさまで
10,000
ダウンロード突破

まずは
無料ダウンロード



デーリー東北
DIGITAL



デーリー東北新聞社

本社
青森県八戸市城下一丁目3-12
TEL0178-44-5111

iphoneの
方はこちら



Androidの
方はこちら



弘前市

挑戦を誇れる街

青森市
AOMORI CITY

あなたらしい暮らしがここ「とわだ」にあります。

十和田市
Towada City

ひと・産業・文化が輝く
北の創造都市

八戸市

新田の歴史が彩る日本のふるさと

青森県 つがる市
TSUGARU CITY

世界自然遺産・日本遺産
豊かな自然と歴史息づくまち

KITAMAE-BUNE KIKOUCHI AJIGASAWA
北前船寄港地
鱒ヶ沢町

<http://www.town.ajigasawa.lg.jp>

五戸町

馬・牛・鶏

このへ三大肉のハイモニー

【このへ三大肉ガイド】
ダウンロードはこちら

おんこちゃん

大地の恵と海の幸
心ひとつに希望のまち

中泊町
Nakadomari Town



鶴の舞橋

健康で
共に支え合う
住みよい
まちづくり



つるりん

鶴田町

<http://www.town.tsuruta.lg.jp/>



ひがしどおりむら

寒立馬と能舞の里 **東通村**

<http://www.vill.higashidoori.lg.jp>



Aomori
Bistro

青森の食材に
こだわっています。

Bistro café eS

ビストロ カフェ エス

〒553-0003 大阪市福島区福島 1-5-12

TEL 06-6454-1920



スナック サンユ

〒542-0084
大阪市中央区宗右衛門町5-4

日宝宗右衛門町エイトビル4階3号

☎ 06-6212-5020



梅田ドーチカの青森・岩手の県産品アンテナショップに

是非おこしく下さい!



決め手くん



わんこきょうだい




青森・岩手
ええもん

AOMORI · IWATE ANTENNA SHOP



住所 大阪市北区堂島一丁目
堂島地下街6号
(梅田・ドージマ地下センター)

電話番号 06-6346-0888

営業時間 11:00 ~ 20:00

定休日 毎月第3日曜日 年末年始

地下鉄四つ橋線「西梅田」駅
南改札から南へ徒歩5分



メール会員募集中!

メール会員様へ **お得情報** をお届けいたします。

登録方法は下記メールアドレスに空メールするだけ!

aomori_iwate_eemomshop@star7.jp

もしくはQRコードを読み込んで空メールを送信!



謹賀新年



越前 良子

(鱒ヶ沢町出身)

☎ 080-1512-6955

栗生 順子

(黒石市出身)

☎ 090-1152-2558

古川 マツエ

(中泊町出身)

☎ 090-3722-9914

小宮山 さき子

(つがる市出身)

☎ 070-6541-3535

佐々木 英雄

(八戸市出身)

☎ 080-1514-7762

杉田 清和

(青森市出身)

☎ 090-8218-7855

須郷 恵美子

(鶴田町出身)

☎ 090-9218-6837

丹藤 豊司

(弘前市出身)

☎ 090-9113-5874

デザイン・印刷
アットフリー

代表 檜垣 達也

☎ 0797-74-1146

FAX 0797-71-8433

日野口 修子

(鶴田町出身)

☎ 090-4562-0507

泰山 和子

(名川町出身)

☎ 090-4296-1269

蒔苗 幸治

(弘前市出身)

☎ 090-8386-1982



令和5年事業計画(案)

	主要事業内容	理事会 予定日	他県人会行事
1月	会報誌発行 定時総会・新春懇親会 1/29 (日)	1/17	京都総会・懇親会 広島総会・男子駅伝
2月			中部総会・懇親会 和歌山総会・懇親会
3月	県職員歓送迎会 (コロナによる変更あり) 甲子園 (春の選抜は未定)	3/14	
4月	花見 かもめの会総会 4/23 (日)		
5月	カラオケ会	5/9	
6月	芸能発表会 6/10 (土) 県人会便り発行		
7月	三県合同納涼ビアパーティ 7/16 (日)	7/11	
8月	夏の甲子園		
9月	ふるさと探訪ツアー (コロナによる変更あり)	9/12	
10月	バーベキュー		東京青森人の祭典
11月	かまりっこの会忘年会 忘年カラオケ会	11/14	
12月	カモメの会忘年会		

三上整骨院

〒555-0001

大阪市西淀川区佃3-14-29

☎&Fax 06-6471-3664

編集後記

今回の「近畿とおももり」はいかがだったでしょうか。

本号も三村県知事をはじめ、各自治体の皆様、青森県大阪事務所の皆様、会員の皆様の御協力のもと、無事発行に至ることができましたこと、心より御礼申し上げます。

2022年は夏の甲子園観戦など、少しずつ以前のようなイベント開催ができるようになり、会員同士の交流も増えて来ました。

とはいえ、長引くコロナ禍により、故郷になかなか帰れていない会員の皆様もいらつしやるかと思えます。そんな会員の方にも、本誌を通じて、少しでも故郷の温も

りを感じて頂けたら、何よりでございます。

本号では、慣れない編集作業で至らない点が多々あったかと存じますが、ご容赦頂けますと幸いです。

令和もいよいよ5年に突入しました。今年も皆さまにとって良い年になりようお祈り申し上げます。

〈編集〉

小宮山 さき子・杉田 清和

小向 智啓・瓢 優美



発行 近畿青森県人会

2023 新年号 令和5年1月発行 67号

〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1-900

☎ & FAX 06-6341-2231

仕事に、会議に、趣味に、
いろいろな使い方できます!

フーキングエリア

パソコンひとつであなたの仕事場に!
快適なWi-Fi環境、高速複合機でストレスフリーな作業をお約束します。

パーソナルオフィス

貸会議室

キッチンスタジオ

起業や創業を考えている方に最適なスペースです。パーソナルオフィスは初期投資のかからないオフィスとして魅力です。

定員別(4~12人)4タイプの会議室に、無料で使える大型電子ホワイトボードを装備。面接、商談、カルチャースクール、研修会とマルチに対応。

東北電力よりソーキングスタジオ e-TO(イート)には料理教室・プレゼンに便利な大型モニターも。

東奥日報新町ビル New's 2F
 coworkingスペース
seven C's

〒030-0801 青森市新町2丁目2-11
営業時間 9:00~19:00
定休日 毎月第4日曜日・年末年始
TEL:017-764-0220
E:7cs-info@toonippo.co.jp
https://www.toonippo.co.jp/feature/news-to-o/top

尾上町(現平川市)出身

山口 義久

京都青森県人会事務局

関西鏡ヶ丘同窓会事務局

〒606-0807

京都市左京区下鴨泉川町55

☎ 075(701)5767



考えてるんだ、
冬の電力のためにできること。

関西電力は電気の使用量が増える冬のために、
火力・原子力・再エネといったすべての発電所の
安全・安定運転に全力で取り組んでいます。

まずは、火力をフル稼働。そのための燃料確保を、しっかりと。
さらに稼働数国内最多の原子力は、安全最優先で、ベースとして供給力を支える。

冬の電力供給に。
すべての発電所を全力で。

 関西電力 *power with heart*